

平成30年第2回大仙市議会定例会

# 市 政 報 告

平成30年5月31日

大仙市長 老 松 博 行

平成30年第2回大仙市議会定例会にあたり、諸般の状況について申し上げます。

はじめに、5月18日から19日の大雨災害による被害状況についてであります。

前線を伴った低気圧の影響により、5月18日の降り始めからの雨量が、協和地域で279ミリを観測したほか、市内全地域で150ミリ以上を観測しております。

本市では、18日午前9時に災害警戒対策室を設置し、午後4時30分に災害警戒対策部、午後5時30分に災害対策本部へ格上げしております。内水対策を始め、避難勧告の発令、避難所の開設、交通規制など、細心の注意を払い、早め早めの対策に努めたところであります。

避難勧告については、1,741世帯、4,761人に発令し、市内13箇所に最大で27世帯49人が避難しております。

現段階で把握している被害状況については、人的被害はないものの、床下浸水が住宅8棟を含め18棟、農作物の冠水被害が424ヘクタールなどとなっておりますが、引き続き詳細な調査を行い、まとめ次第、報告させていただきます。

なお、住宅等の浸水被害を受け、支給要件に該当する方への見舞金については、5月22日から支給を開始し、23日までに完了しております。

次に、昨年度2度にわたり発生しました豪雨災害に伴う災害復旧対策の進捗状況についてであります。

災害復旧事業については、4月から12人体制となりました災害復旧事務所において、国の補助事業として採択された公共土木施設をはじめ、農地、農業用施設、林道の災害復旧及び県補助の治山事業を実施しております。国の査定決定後の事業箇所は、全体で177箇所、工事費で19億1,696万円であり、このうち4月末までの発注箇所は108箇所、率にして61パーセント、また、発注額は9億1,593万円、率にして48パーセントであります。残る69箇所についても速やかな業務実施に努めてまいります。

また、本年6月に国の査定を受ける予定となっております、地すべりを起因とした道路災害3箇所については、現在も通行止めの規制を継続しております。このうち協和地域の<sup>みやたまた</sup>宮田又線につきましては、集落と国道46号を結ぶ唯一の路線で、迂回路の距離が長く住民の皆さまの生活に多大な影響を及ぼしていることから、早期解決に向け、今次定例会に災害復旧に係る予算の補正をお願いしております。残る2箇所については、国の交付金が決定になり次第、予算の補正をお願いしたいと考えております。

引き続き、災害復旧を最優先に捉え、市民の皆さまのご不便とご心配を解消するため、一日も早い復旧に向けて努力してまいります。

次に、花火産業構想の進捗状況についてであります。

花火伝統文化継承資料館、愛称「はなび・アム」については、2ヶ年にわたり建設工事を進めてまいりましたが、予定どおり本日5月31日を以て工事が完成し、6月16日には竣工式を予定しております。

また、4月には、新たに4人体制の専任部署を勤労青少年ホームに設置し、8月5日の開館に向け準備作業を進めております。

なお、資料館開館後は、来館者用の駐車スペースを確保するため、勤労青少年ホームの解体工事に着手するとともに、資料館の目玉のひとつであります「はなびシアター」の映像コンテンツの充実を図るため、「第92回全国花火競技大会 大会提供」の映像制作を行うこととしており、今次定例会に関連予算の補正をお願いしております。

おみやげ商品ブランド開発については、地元業者と連携を図り、市内の農林水産物を原材料とした銘菓や漬物、燻製など7商品を、統一ブランド「秋田・大仙 せんのぜん」として販売しております。このブランド名は様々な食が並ぶ様子をお膳と表現し、大仙市の「せん」と続けて韻を踏むことで覚えやすい響きとしたものであります。各商品は、4月7日よりJR大曲駅2階の大仙市観光情報センター「グランポール」で販売されており、商品のラインアップや取扱店舗の拡大とともに、セット販売用の化粧箱制作など販売力強化を進め、本市の定番おみやげ商品としての確立を目指してまいります。

次に、秋田新幹線に関する要望活動についてであります。

秋田新幹線は、平成9年3月に開業して以来、秋田県と首都圏、仙台市、盛岡市等を結ぶ路線として、産業活動、経済活動、観光誘客、移住定住など、地域活力の維持・向上や地方創生の取組を推進する上で必要不可欠な役割を果たしております。

しかしながら、秋田新幹線は急峻な奥羽山脈の山岳地帯を横断するため、豪雨や豪雪、強風などの自然災害による輸送障害のリスクを抱え、度々安定運行や定時性に支障をきたしている状況にあります。

こうした状況を解消するため、東日本旅客鉄道株式会社では、平成27年度から2カ年にわたって現地調査を実施し、岩手県側の赤湊から秋田県側の田沢湖までの防災対策トンネルの整備を検討していると伺っており、安全性の向上や定時運行による経済的効果も期待されております。

今般、沿線及び近隣自治体、並びに経済団体などで構成される防災対策トンネルの実現に向けた期成同盟会を立ち上げ、県とも協働で要望活動を行ってまいりたいと考えており、今次定例会に関連予算の補正をお願いしているほか、本日の本会議終了後に議員説明会を開催していただき概要をご説明することとしております。

次に、主な部局ごとに諸般の報告を申し上げます。

はじめに、総務部関係についてであります。

「大学卒業程度」の採用試験については、新たに県外在住者で一定の社会経験がある移住希望者2名程度のほか、一般事務職員、建築技術職員など合わせて25名程度の採用を予定しており、7月22日に一次試験を実施することとしております。

また、「短期大学及び高校卒業程度」の採用試験については、新たに障害者手帳等を所持し一定の要件を満たす者1名程度のほか、一般事務職員、土木技術職員など合わせて10名程度の採用を予定しております。試験日程や募集要件など、詳細については、7月1日発行の市広報及び市ホームページで公表することとしております。

「明治150年事業」については、5月15日から12月1日までの間、大仙市アーカイブズで開催している企画展をはじめ、本市の近代化を主要テーマに設定したシンポジウムを4回開催するほか、市内の文化的遺産を探訪するヘリテージツアーを3回開催することとしております。

座間市との災害時相互応援協定に基づく「第13回災害対策連絡会議」については、5月11日に座間市長をはじめ関係者6人が来訪し、本市において開催しております。両市において本年1月23日に実施した

「いっせい防災行動訓練シェイクアウト」の実施状況や各イベント警備の状況、気象情報サービスなど災害対策についての意見交換を行い、協力体制を再確認するとともに、整備中の「大曲仙北広域市町村圏組合消防本部・大曲消防署」の視察を行っております。

次に、企画部関係についてであります。

「イベント民泊事業」については、かねてから宿泊施設の不足が見込まれる全国花火競技大会にあわせ、本年度から試行的に実施することとしており、5月16日から6月30日までの間、宿泊先の提供者を募集し、その結果を踏まえ、7月に宿泊者の募集を行う予定であります。イベント民泊は、宿泊施設不足を解消する有効な手段のひとつであり、将来的には交流人口や観光消費の拡大に結びつけたいと考えております。詳細については、5月16日発行の市広報及び市ホームページでお知らせしております。

「ふるさと納税」については、平成29年度の寄附額が約3,000万円、前年度と比較して2,000万円以上増加し、平成20年度の制度開始以来、過去最高額となっております。今後は、寄附しやすい金額の設定や地域色豊かな返礼品の充実をより一層図るとともに、自治体を応援する制度趣旨を念頭に、寄附者との継続的なつながりを維持する取り組みにも力を入れてまいります。

「地域おこし協力隊」及び「移住コーディネーター」については、4月3日に辞令交付を行っております。協力隊については、新たに3人を増員し4人体制となっており、市民とのふれ合いを通し、移住者の視点で本市の魅力を市内外へ広く発信する活動に取り組んでおります。

また、本年度から新たに採用したコーディネーター1人については、

移住希望者を対象に、移住体験応援事業の案内、移住に関する相談などを行うとともに、無料職業紹介所の開設に向けて準備を進めております。今後は相互に連携を図り、より一層、移住促進につなげてまいりたいと考えております。

シティプロモーション戦略事業については、人材や自然など本市独自の地域資源をこれまで以上に活用し、「大仙らしさ」や「大仙の魅力」を市内外に広く発信するものであり、この4月に広報広聴課を新設しております。インバウンドを含めた交流人口の拡大や移住定住の促進を期待しており、今次定例会にPR強化に係る予算の補正をお願いしております。

次に、市民部関係についてであります。

廃棄物処理の広域化については、大曲仙北広域市町村圏組合に設置した準備室において、平成31年4月の広域化に向けた関係機関との協議を進めており、このたび「廃棄物処理広域化基本構想」が完成したことから、本日の本会議終了後、議員説明会を開催し、議員各位に基本構想の概要を説明する予定としております。

次に、健康福祉部関係についてであります。

高齢者支援については、社会福祉法人ウォームハートが入所待機の

緩和を図るため、大曲地域花館地区に特別養護老人ホーム40床の整備を計画しており、市の「大型公益施設整備事業補助金等交付要綱」による事前協議があったことから、同要綱による財政支援を行うこととし、今次定例会に予算の補正をお願いしております。

子育て支援については、4月に社会福祉法人大空大仙が協和保育園と船岡保育園を統合した認定こども園「協和まほろばこども園」を開設しております。これにより市内8地域全てに認定こども園が設置され、就学前の教育・保育の充実が図られるものと期待しております。

次に、農林部関係についてであります。

「大豆産地化推進事業」については、6月上旬からの播種作業に向けた耕起作業を概ね終了しております。現在、個々の農家から提出された平成30年度営農計画書を取りまとめておりますが、大豆の栽培面積は、昨年度より24ヘクタール増加し、1,200ヘクタールとなる見通しであり、関係機関と連携して収量及び品質向上への取組を推進してまいります。

本格栽培3年目を迎える園芸メガ団地のトマト栽培については、5月5日に定植作業を終え、6月下旬の初出荷に向けて104棟のハウスで本年度の栽培が開始されております。

「畜産・酪農収益力強化整備等特別対策」については、協和地域稲沢

地区で畜産経営の規模拡大を目指す農業者が実施する牛舎整備に対し、今般、国の事業採択があったことから、今次定例会に予算の補正をお願いしております。

次に、経済産業部関係についてであります。

ハローワーク大曲管内の本年3月に卒業した高校生の就職状況については、求職者362人が就職し、就職率は100パーセントとなっております。このうち、県内就職者は257人で全体の71パーセントを占め、県平均よりも2.6ポイント高い数値となっております。若者の地元定着をより一層促進するため、5月29日に大仙市商工会へ早期の求人票提出を要請しており、また、大曲商工会議所については、6月4日に要請してまいりたいと考えております。

「大仙市企業インターンシップ事業」については、本年度から従来の対象大学に加え、看護及び介護福祉に関する大学や栄養短期大学、職業能力開発短期大学校などの専門職を目指す学生も対象として参加を呼びかけており、市内の企業に対しても学生のインターンシップ受け入れの協力をお願いしております。

企業誘致については、平成29年度に実施した工業団地の適地調査で、秋田自動車道インターチェンジ周辺や既存工業団地周辺の候補地から、19項目の総合評価で選定した最適地を整備することとし、今次定例会

に、測量に係る予算の補正をお願いしているほか、本日の本会議終了後、議員各位に概要を説明する予定としております。

昨年の「国際花火シンポジウム」を継承するイベントとして、5月12日に開催された「大曲の花火―春の章―」については、天候にも恵まれ、「世界の花火 日本の花火」をテーマに、海外で活躍する花火業者や地元の花火師などにより約8千発の花火が打ち上げられ、多くの皆様から素晴らしい花火の共演を楽しんでいただいたところであります。

次に建設部関係についてであります。

4月17日に大曲地域の姫神橋において、橋の欄干の基礎部分から、コンクリート片が剥がれ落ちる事故が発生しております。幸い、けが人や物損等の被害はありませんでしたが、橋りょうの状態を把握するため、専門業者による緊急点検と危険箇所の応急対策を実施したほか、橋りょう下部への立ち入りを禁止とする対策を講じておりますが、はく落防止ネットの設置など、追加の安全対策費として、今次定例会に予算の補正をお願いしております。

道路維持修繕事業については、4月から8人体制で神岡地域、西仙北地域、協和地域及び南外地域の道路修繕を行う「西部道路維持班」を新設しており、道路修繕を迅速かつきめ細やかに実施するよう努めております。

平成29年度に策定した「大仙市立地適正化計画」については、都市計画マスタープランの一部と位置づけ本年3月26日に公表しており、8つの地域拠点の形成と、これらを結ぶ多極ネットワーク型コンパクトシティの考え方により、地域生活の利便性の維持や向上を図り、住み慣れた地域に住み続けられる地域づくりを進めております。

次に上下水道局関係についてであります。

「上下水道お客様センター」については、上下水道料金に関する受付やメーター検針、料金収納などの一連の業務を株式会社トータルオフィス・マネージメントに委託し、4月に上下水道局1階に開設しております。事務の効率化とより一層のサービス向上が期待できるほか、料金については、新たにコンビニエンスストアや郵便局窓口での支払いが可能となり、利便性の向上が図られております。

次に、教育委員会関係についてであります。

「大曲中学校水泳プール改築事業」については、本年度に既存プールを解体し、来年度に新プールを建設する予定でありましたが、本年度、国の交付金事業として採択されたことから、新プール建設を前倒しし、2か年事業として来年7月上旬の完成を目指しており、今次定例会に関連予算の補正をお願いしております。

地域の活性化に寄与できる子どもの育成を目指した「大仙ふるさと博士育成事業」については、本年3月末で2,889人が認定を受けております。昨年度以上に多くの事業所や市関係施設からご協力をいただき、5月1日には訪問・体験先リストを更新しております。

大仙ふるさと博士の英語版となる「グローバルジュニア・マイスター育成事業」については、日頃のALTとの交流に加え、国際教養大学の留学生との交流、インターナショナルデーなどの学校行事での交流を生かした取組が見られ、3月末で217人が認定を受けております。

国指定名勝の旧池田氏庭園については、現在も年次計画による修復事業を続けておりますが、庭園中央部に位置する主要な建造物の修復がほぼ完了したことから、5月19日以降、常時公開を開始しております。公開日から2日間は、一般公開期間の拡大を記念して庭園内のライトアップのほか、特産品の販売やご当地グルメ、地酒の提供を行っております。今後も市民の皆様をはじめ、各方面に対し誘客に向けた働きかけを行ってまいります。

昨日開催されました全国共通スポーツイベントの「チャレンジデー」については、今回で6回目の参加となり、対戦相手は「香川県丸亀市」でありました。スポーツ団体、学校、企業、商業施設など多方面からの賛同をいただき、結果は、本市の参加率が92.4パーセント、丸亀市が93.9パーセントとなり惜しくも敗戦となっております。

最後に、平成29年度の一般会計、特別会計及び企業会計の決算概要について申し上げます。

一般会計については、翌年度に繰り越す財源を除いた実質収支が、約8億円の黒字決算となる見込みであります。

これは、災害復旧や除排雪の経費が特別交付税に反映され、合併後、最大の交付額となったことが主な要因であります。歳出において20億円ほどの災害復旧事業費が翌年度に繰り越しとなり、これに必要な一般財源が3億2,000万円ほどになることから、黒字幅は、昨年度に比べ2億8,000万円ほど縮小する見込であります。

国民健康保険事業特別会計をはじめとする特別会計については、全てにおいて実質収支がゼロまたは黒字であり、企業会計の収益的収支における純利益は、水道事業会計で約2億3,000万円、簡易水道事業会計で約4,400万円、市立大曲病院事業会計で約1,700万円となっております。

以上、諸般の状況をご報告申し上げましたが、これまで申し上げた以外のものについては、別添のとおりご報告させていただきます。

今後とも市民の皆様並びに議員各位のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。市政報告とさせていただきます。

別添

平成30年第2回大仙市議会定例会  
市政報告

市長報告以外の諸般の報告

平成30年5月31日

大 仙 市

## 目 次

1	豪雨被害による旧淀川保育園の文書等の補修作業について	2
2	消費者講演会について	2
3	在宅医療・介護連携支援センターについて	2
4	第3次大仙市地域福祉計画について	2
5	第3次大仙市障がい者計画、第5期大仙市障がい福祉計画・第1期大仙市障がい児福祉計画について	2
6	大仙市高齢者プランについて	2
7	大仙市子どもの貧困対策に関する推進計画について	3
8	大仙市自殺対策計画の策定について	3
9	地域見守り協力協定の締結について	3
10	水田の春作業について	3
11	水稻の直播栽培導入推進事業について	3
12	サケ稚魚の放流式について	3
13	クマの出没状況について	4
14	クルーズ船寄港による「大曲の花火」の打ち上げについて	4
15	「座間市大凧まつり」について	4
16	大佐沢公園の災害復旧事業について	4
17	住宅リフォーム支援事業について	4
18	建設部に係る国、県関係事業について	4
19	下水道事業について	5
20	「余目公園観桜会・余目さくら花火観賞会」について	5
21	神岡地域夜桜ライトアップについて	6
22	西仙北地域桜ライトアップについて	6
23	「なかせん桜まつり」について	6
24	「ドンパン娘」の募集について	6
25	「第9回協和さくら祭り」について	6
26	きょうわ縁結びグルメ“グルメガイド”について	6
27	「第6回南外おらほの桜まつり」について	7
28	「なんがい青空市」について	7
29	「払田真山公園観桜会」について	7
30	「第5回太田黄桜まつり」について	7
31	こころのプロジェクト「夢の教室」事業について	7
32	「ミュージックフェスティバル in DAISEN」について	7

## 【総務部】

### 1 豪雨被害による旧淀川保育園の文書等の補修作業について

大仙市アーカイブズにおいて、被災直後から行っている乾燥及びクリーニング等の補修作業が完了し、4月19日に社会福祉法人大空大仙に引き渡しを行っている。

## 【市民部】

### 2 消費者講演会について

5月25日に大曲交流センターで開催している。NACS日本消費生活アドバイザー大西二郎氏を講師に「思いやりを行動で示すエシカル消費」と題した講演や、大仙市消費生活推進員及び消費生活センター職員による架空請求詐欺への注意を呼びかける寸劇を行っている。

## 【健康福祉部】

### 3 在宅医療・介護連携支援センターについて

新たに4月から、医療と介護の両方を必要とする高齢者のため、関係団体が連携し在宅医療と介護の一体的な提供を支援する「在宅医療・介護連携支援センター」を地域包括支援センター内に設置し、健康福祉会館内に開設している。

### 4 第3次大仙市地域福祉計画について

平成30年度から32年度までの3カ年を計画期間として3月に策定しており、大仙市社会福祉協議会の第4期地域福祉活動計画と一体となった計画を策定することにより、更に連携を強化し、自助・共助・公助による地域ぐるみの福祉を展開している。

### 5 第3次大仙市障がい者計画、第5期大仙市障がい福祉計画・第1期大仙市障がい児福祉計画について

前者は平成30年度から35年度までの6カ年を、後者は平成30年度から32年度までの3カ年を計画期間として3月に策定しており、障がい者とその家族の福祉向上に向けて、各事業を展開している。

### 6 大仙市高齢者プランについて

平成30年度から32年度までの3カ年を計画期間として3月に策定しており、今後も加速する高齢化へ対応し、高齢者が住み慣れた地域で生活出来るよう総合的に事業を進めている。

## 7 大仙市子どもの貧困対策に関する推進計画について

平成30年度から34年度までの5カ年を計画期間として3月に策定しており、子どもたちが、生まれ育った環境により左右されることなく健やかに成長していける地域社会の実現を目指し施策を展開している。

## 8 大仙市自殺対策計画の策定について

自殺対策基本法の改正を受け、自殺予防を総合的かつ効果的に推進するための「大仙市自殺対策計画」を策定するにあたり、4月23日に市関係部局長で構成する「大仙市いのち支える自殺対策推進本部」を立ち上げている。

## 9 地域見守り協力協定の締結について

平成24年からの郵便業、運送業などの事業所の従業員による地域見守り体制に加え、市内に事業所を置くコンビニエンスストアとの地域見守り協力協定の調印式を3月13日に行っている。

### 【農林部】

## 10 水田の春作業について

田植え作業については、5月17日から19日の大雨や低温により作業が見合わせられたことから、平年より1日遅い5月25日に盛期を迎え、概ね完了している。今後の生育が順調に進むよう、県や関係団体と連携して肥培管理の徹底を呼びかける。

## 11 水稻の直播栽培導入推進事業について

本年度設置した仙北地域高梨地区の実証ほ場で、5月10日に農研機構東北農業研究センターの全面的協力体制のもと、直播栽培取組農家や仙北地域認定農業者協議会会員等52人が参加し、現地検討会を開催。無コーティング種子の代かき同時播種作業が実演され、活発な意見交換が行われている。

## 12 サケ稚魚の放流式について

4月12日に花館小学校、四ツ屋小学校、内小友小学校、神岡小学校の児童156人が参加し玉川橋下流で行われている。放流式以外にも、大仙市鮭ふ化放流事業組合や雄物川鮭増殖漁業生産組合による稚魚の放流は定期的に行われている。

### 13 クマの出没状況について

4月30日現在、市内でのクマの目撃は、協和地域4件と南外地域1件、合わせて5件の情報が寄せられている。今後、クマの出没が見込まれることから、引き続き市民への注意喚起などを行っていく。

#### 【経済産業部】

### 14 クルーズ船寄港による「大曲の花火」の打ち上げについて

訪日外国人を含めたクルーズ船客の取り込みを目的に、秋田県港湾空港課と連携し、秋田港、能代港及び船川港へ初寄港するクルーズ船に対して、「大曲の花火」を打ち上げ、誘客を図る。なお、打ち上げ回数は2回程度で、1回目は6月1日を予定している。

### 15 「座間市大風まつり」について

友好交流都市である座間市の大風まつりが5月4日、5日に開催され、本市からは、老松市長、高橋副議長のほか物産中仙株式会社の社員など10人が参加し、「大曲の花火」映像を用いた観光PRや特産品の販売を行っている。

#### 【建設部】

### 16 大佐沢公園の災害復旧事業について

昨年11月に国の災害査定を受けて補助事業に採択された西仙北地域「大佐沢公園」の災害復旧工事は、3月中旬に一括発注し7月末の完成を目指している。

### 17 住宅リフォーム支援事業について

本年度の申請件数は、4月23日時点で60件であり、市民の関心は依然として高いものとなっていることから、本年度も、来年3月20日までに実績報告書を提出されたものについては、全て申請を受け付けることとしている。

なお、昨年度の実績は、申込件数487件、補助金額7,060万円、対象工事費9億77万円となっている。

### 18 建設部に係る国、県関係事業について

#### ・事業調整会議について

河川や道路に関する情報を共有し相互に協力して整備を推進するため、仙北地域振興局との事業調整会議を5月14日に実施してい

る。また、東北地方整備局湯沢河川国道事務所との事業調整会議については、5月21日に実施する予定であったが豪雨災害のため7月に延期している。

・ **雄物川中流部河川改修事業について**

本年度、本市分として約18億9,900万円の予算で事業実施の予定と伺っている。主な事業内容は、西仙北地域の強首地区、寺館大巻地区及び協和地域の中村・芦沢地区、岩瀬・湯野沢地区の築堤及び用地取得費に関する業務の着手となっている。

・ **道路事業について**

協和地域の国道46号荒川地区の線形改良事業として、本年度、3億円が予算措置され、昨年度に引き続き、切り土工事を実施すると伺っている。

・ **県事業について**

南外地域の主要地方道神岡南外東由利線の下袋工区で引き続きバイパス工事を実施するほか、神岡地域の一般県道土川神岡線の上高野工区、西仙北地域の主要地方道本荘西仙北角館線の野田工区、一般県道水沢西仙北線の大楽工区、中仙地域の一般県道豊岡長野線の豊岡工区及び南外地域の一般県道湯ノ又前田線の下滝工区で改良工事を実施する予定と伺っている。

昨年被災した土買川、淀川、檜岡川では、災害復旧事業等として、築堤工事を実施する予定と伺っている。

**【上下水道局】**

**19 下水道事業について**

大雨による浸水被害への対策として、大曲地域公共下水道計画区域のうち、過去に浸水被害が発生した区域を対象に、効率的で効果的な排水対策を調査、検討するため、雨水管理方針策定業務委託を4月に発注している。

**【支所等】**

**20 「余目公園観桜会・余目さくら花火観賞会」について**

4月22日から5月6日まで、大曲地域内小友地区の余目公園を会場に観桜会が開催されたほか、4月28日に同公園で開催された「余

目さくら花火観賞会」では、約1,000発の花火の打ち上げや歌謡ショーなどが行われ、1,500人を超える人々が来場している。

#### 21 神岡地域夜桜ライトアップについて

地域の方や親子連れが集まる中川原コミュニティ公園と神岡中央公園の桜の木に、投光器やスズラン灯によるライトアップを4月20日から5月7日まで実施している。

#### 22 西仙北地域桜ライトアップについて

昨年度から地域の中心に位置し、国道13号沿線にある大佐沢公園の桜の木に、投光器やスズラン灯によるライトアップを4月23日から30日まで実施している。

#### 23 「なかせん桜まつり」について

4月20日から5月6日まで、八乙女公園、斉内川河川敷、道の駅なかせんで開催している。道の駅なかせん会場では、4月29日にイベントを開催し、ドンパン踊り、民謡ショー、超神ネイガーショーなどを実施している。

#### 24 「ドンパン娘」の募集について

現在26人が登録し、ドンパン祭りの踊り子として、また地域のイベントやアイドルのコンサートまで幅広く活躍している「ドンパン娘」を5月1日から6月15日までの間、募集している。

#### 25 「第9回協和さくら祭り」について

4月27日から3日間、道の駅 協和で開催している。27日には、道の駅に隣接する米ヶ森公園で220人が参加しグラウンドゴルフ大会を開催。29日には、道の駅で、地元小・中学生の吹奏楽部の演奏や、協和地域や宮崎市の特産品販売及び宮崎の地鶏焼き販売等が行われ、2,000人以上が来場している。

#### 26 きょうわ縁結びグルメ“グルメガイド”について

協和地域と有縁交流都市である宮崎市の農畜産物を活用し、地域の飲食店の皆様が開発したグルメガイドを発行している。なお、4月19日現在で16商品が製造販売されている。

## 27 「第6回南外おらほの桜まつり」について

4月29日に南外ふれあいパークで開催。南外地域の各団体から協力を得て芸能ステージ発表や出店などが行われ、延べ300人が来場している。また、4月28日から5月6日まで、夜桜のライトアップを実施している。

## 28 「なんがい青空市」について

昨年度に引き続き、5月27日に南外支所前駐車場を会場として、本年度1回目のなんがい青空市を開催している。今後は、10月まで毎月第4日曜日を開催日として午前8時から正午まで行う。出店は自由で、出店費用は無料としている。

## 29 「払田真山公園観桜会」について

仙北地域の市民団体が主体となり、4月20日から27日まで開催している。4月21日から2日間は、芸能発表や桜と高梨神社のライティングショーなどのイベントを実施している。なお、期間中は、夜9時までライトアップを実施している。

## 30 「第5回太田黄桜まつり」について

5月3日から大台スキー場を会場に開催している。動物ふれあい体験、ツリークライミング、ウォーキング、地元農産加工品販売等、多様なイベントが企画されている。

### 【教育委員会】

## 31 こころのプロジェクト「夢の教室」事業について

スポーツバージョンとして、5月8日に大曲西中学校、大川西根小学校（視覚障がい水泳）、9日に中仙小学校、東大曲小学校（水泳）、10日に神岡小学校、横堀小学校（サッカー）、11日に中仙中学校（野球）で実施している。

## 32 「ミュージックフェスティバル in DAISEN」について

本市出身者や本市の関連イベントに出演したゆかりのある歌手による音楽発信イベントが、5月27日に大曲市民会館で開催している。